

2021年2月24日

No.20039

お客さま各位

【ご案内】P&W社製のエンジンを装備したB777型機の運航停止について（初報）

平素よりJALCARGOをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

2月21日（現地時間20日）に米国で発生した他航空会社ボーイング777型機のエンジン損傷事例を受け、当社では同型のエンジンを装備するボーイング777型機の運航をただちに停止いたしました。

これにより、2月21日には欠航便が1便、大幅な遅延が2便発生しました。また、2月22日以降も引き続き多くの便で小型化を含めた機材の変更が発生する見通しもあり、お客さまにご迷惑をお掛けすることとなりますこと、心よりお詫び申し上げますとともに、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社では、2020年12月4日に発生したJL904便（沖縄那覇空港発東京羽田空港行き）のエンジン不具合による引き返し事例の発生以降、同型式エンジンを搭載する航空機に対し、点検頻度を引き上げた点検強化を実施しております。今般の措置は、追加対策の必要性を検討するために同型機の運航停止を決定したものです。

運航停止となるのはプラット・アンド・ホイットニー社（P&W社）製のエンジンを装備したボーイング777型機で、当社の国内線に使用している777-200型機9機、777-300型機4機の計13機が対象となります。一方、ゼネラル・エレクトリック社（GE社）製のエンジンを装備している国際線用の777-200ER型機9機と777-300ER型機13機は今回の運航停止の対象外となります。

今回米国で部品が落下したP&W社製のエンジンはファンブレード（回転して推力を生み出す羽の部分）がチタニウム（金属）製であり、GE社の炭素繊維強化プラスチック製と設計が異なります。（GE社製のファンブレードが欠損した事例は過去に報告されていません。）

JALグループでは今後もお客さまに安心してご利用いただくため、一便一便の安全を確実に実現してまいります。

以上